

水素社会へ官民連携

福島市が推進協設立 FCV普及、供給施設整備

水素社会実現に向け官民が連携して取り組む「福島市水素社会実現推進協議会」の設立総会は、市内のコラッセふくしまで開かれた。

地球温暖化対策の一環として再生可能エネルギーの導入拡大が期待されることから、水素に関する知識を深め、具体的な施策を推進する。市、県、福島大、アポロガス、東芝など十二団体・企業が構成委員となっており、オブザーバーをエネルギー・エージェン

シードとして取り組む「福島市水素社会実現推進協議会」の設立総会は、市内のコラッセふくしまで開かれた。

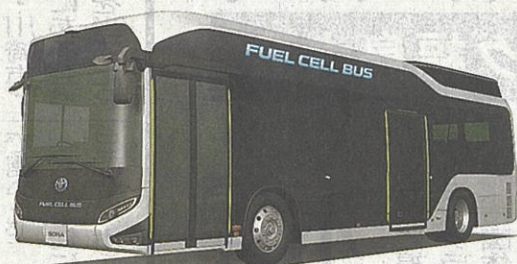


水素社会の実現に向けて発足した協議会

燃料電池バス初運行

水素で走る燃料電池バス「トヨタ・SORA」の体験試乗会を二十四

24日に体験試乗会



福島市内で初運行する燃料電池バス「トヨタ・SORA」

水素で走る燃料電池バス「トヨタ・SORA」が福島市内で初運行する。二十四日、市内のあづま総合運動公園大駐車場にて無料の体験試乗会を開く。

市水素社会実現推進協議会の主催。体験試乗会は午後一時半から午後五時まで計八運行し、約十分程度、公園周辺を走る。定員は各回二十人程度。回によ

車（FCV）の普及や、定置式水素ステーションなどの供給施設の整備促進などを事業に揭げている。トヨタの燃料電池バス「SORA」の体験試乗会を二十四

日、市内のあづま総合運動公園大駐車場で開催。会長に就いた木幡浩市長があいさつした。引き続き、市、アポロガス、北芝電機が水素事業の取り組みについて事例を交えながら紹介した。

つては席に余裕があるため、市は参加者を募集している。無料だが、事前申し込みが必要。トヨタの「MIRAI」、ホンダの「クラリティ フューエルセル」など燃料電池車（FCV）の試乗会も催す。会場には移動式水素ステーションや、飲食を楽しむキッチンカーなども登場する。

出展団体はアポロガス、北芝電機、福島トヨタ自動車、ホンダカーズ福島、県、市。問い合わせは市環境課再生可能エネルギー推進係 電話024(5515)30742へ。